



4

読み書きの力伸ばす

べたり、昼の放送でお薦めの記事を紹介したりしている。授業での活用では、全教科・領域に関わらせて取り組んでいる。例えば、国語科の教科書（東京書籍）では、4年生「みんなで新聞を作ろう」、5年生「書き手の意図を考え

児童にとって新聞は教材として楽しく、学級経営に大いに役立つている。新聞を通して児童は社会への関心が高まり、将来に役立つ情報を得ることができている。さらに、新聞は読解力を高めるだけでなく、グラフや統計表などを通して資料を活用する力を高められると考える。これらのNIEによる効果を最大限に発揮できるように、今後も三つの手だてを基にした実践を積み重ねていきたい。

（船岡小主幹教諭 坂本謙）

―第1週掲載

本校では、「新聞に興味をもち、進んで活用する児童の育成を目指して」を主題に、NIEを実践している。主な手だては①日常的な取り組み②授業での活用③環境の整備―以上の3点である。

日常的な取り組みでは、各学級で朝の会などを通して、お気に入りの新聞記事を発表する活動を取り入れている。委員会活動にもNIEを積極的に取り入れている。

PR委員会では、学校の主な出来事を新聞にまとめて作成したり、図書委員会で、児童が図書室で新聞を自由に閲覧できるように並

ながら新聞を読もう」、6年生「新聞の投書を読んで意見を書こう」など新聞と関わる単元がある。実際に新聞を活用することで、児童の読み書きの能力が高められていると考える。また、社会科では、調べて分かったことを新聞にまとめる学習を積極的に行っている。

環境の整備では、NIEコーナーで新聞記事を掲示している。掲示コーナーで特に配慮していることは、児童の興味、関心を高めるようにクイズ形式にしていることである。

メモ 児童589人。片山栄次校長。1874年に開校。近くにある白石川の一目千本桜や船岡城跡公園の桜が名所で、校章は桜をモチーフにしている。宮城県柴田町船岡東1の2の60。



お気に入りの記事を探す児童

船岡小（宮城県柴田町）